

【家庭数配布】  
平成 28 年 10 月 24 日

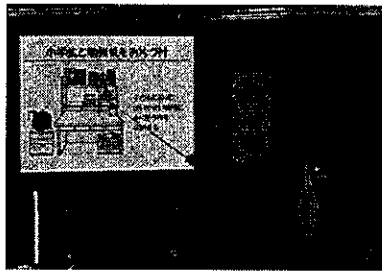
保護者の皆さまへ

世田谷小学校 PTA 会長 松平 麻美  
家庭教育学級委員長 長澤 智子

## 第2回 家庭教育学級 実施報告書

-「親が笑顔で応援できる子供の整理収納」-

去る10月12日(水)、家庭教育学級委員会では、「幸せ家族のお片づけ」を提案するお片づけカウンセラー一橋口真樹子氏をお迎えし、保護者の皆さまが学ぶ「親が笑顔で応援できる子供の整理収納」を開催しました。当日は、保護者44名の方々にお集まり頂きありがとうございました。以下、簡単に当日の内容をご報告いたします。参加されなかった皆さんも是非ご一読ください。



**Profile** 大学卒業後、外資系企業の人事部門にて採用・研修業務に従事。育児休職中に夫のアメリカ留学が確定、夫婦そろって退職し2歳の娘を連れて渡米。アメリカ滞在中に「いつきてもキレイな家」と、片づけのアドバイスを求められた事がきっかけで、帰国後に整理収納アドバイザーの資格をとり起業。「家庭内の片づけは、片づけやすい仕組みと家族の良好なコミュニケーションが鍵」をモットーに多岐にわたって活躍中。

### 1. 小学生と勉強机をお片づけ

勉強机のお片づけのコツ：子どもにとって使いやすい場所によく使う物を収納する

#### ① 全部だす！

(今日は引き出しの中身を全部出す。明日は棚の中身を全部だす。無理しない範囲でやろう)

#### ② 仕分ける！

子供とおしゃべりをしながら、残すもの、捨てるものを子供に考えさせる。やらされ仕事にせず、子供に自分で決めさせる。

× 早くしなさい、まだ終わってないの？

○ 思い出の品で思い出話を楽しみながら・・・

#### ③ しまう！

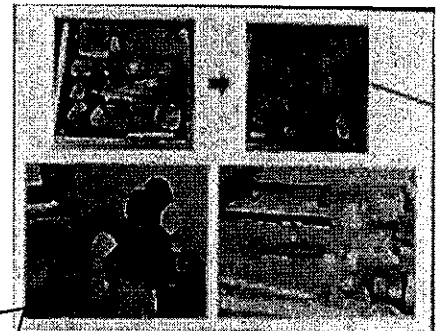
毎日出し入れするもの、しないものを子供に聞きながら、子供にとって使いやすい場所(身長等)によく使うものを収納する。

☆子供のテリトリー

☆子供の自由にさせる

☆親はアドバイスできるように

引き出しの奥はヨコよりタテに収納すると手前からとりやすいよ



2. 片づけは「生きる力」を育むしつけ：「生きる力」が人生を豊かにする

- ☑選ぶ力 捨てるもの、残すものは何か。自分にとって大事なものを選ぶ
- ☑思いやりと責任感 一緒に生活している者同士の思いやり。自分のことは自分でする
- ☑続ける力

3. 「いい収納」はどっち？：「わかる」が大切、「きれい」は後  
整理＝わかるようにする事⇒見ればわかる収納（中身がみえる等）  
整頓＝きれいにする事



4. 「いつもきれい」は、幻想：すぐに片づく仕組みを作る

◇ 「すぐに片づく」我が家のコツ：10分片付け

① **定位置**＝「使う場所」に収納

もとに戻す場所が決まっていること。

（決まっていない場合、子供は隠すようになる）

☆定位置が使っている場所（自分の暮らし）とあっているか確認。

どこにどのようなモノを置きっぱなしにしているか、家族の動き、モノの動きをみたらうで、相手にとって戻しやすい場所をつくる。

② **適量**＝管理できる量に

・「要・不要」ではなく「使っている・使っていない」で整理

× この本もういらないでしょ？（主観の言葉）

○ この本、読まなくなったね。（事実の言葉）

・おもちゃを整理するタイミングは「誕生日・クリスマス」の前がベスト  
誕生日、何が欲しい？それを置く場所があるよね。

・子どもの判断に口を出さない

③ **収納法**＝引出しと棚を制する

・引出しは、箱で仕切る（上からみた時に中身が見えること）

・棚は、細かいものはまとめる & 手前を動かしやすく（後ろにあるものが何か分かるように同じものを入れる。違うものを入れる場合は、前を低くして後ろに何かがあるか分かりやすくする）

④ **関わり方**＝子どものやる気をつぶさない

・重箱の隅をつつかない

・シンプルに伝える、相手の言い分を聞く（自分の思いこみでふくらまさない）

・やってくれた時こそ、言葉にする「ありがとう！」感じのいい声掛け

関わり方=子どもの段階に合わせる

- ・低学年：具体的にやり方を教える。こまめに声をかける
  - ・中学年：考えさせながら寄り添う。周り（同級生）と自分
  - ・高学年：大人に扱いつつ見守る。命令に反発する
- ☆思春期以降のために「信頼」を積み上げる

◇ 「住まい」=人が主役：「きれいな部屋」ではなく「わが子の成長」をゴールに

◆ 保護者から先生への質問と回答

質問① 親が片付けが苦手でも、子供は片付けが上手になるのでしょうか？

⇒親が子供に片付け方等聞かれたときに教えることができるようにしましょう。まずは自分で（親が）今日お話ししたことを試してみてもいいでしょうか。

質問② 小4娘からの質問です。張り切って片づけると割ときれいになるのですが、すぐにリバウンド（以前よりも散らかった状態）になってしまいます。どうしたらいいのでしょうか？

⇒今日お話ししたように、お子さんが張りきらなくても片付けができる仕組みにかえることが大切だと思います。

質問③ 学校からのプリント（テスト含む）教科書（修業後）の片付け先、処分時期や方法を知りたい。かさばる図工作品や理科で使った実験道具も。

⇒前年度の教科書は、学校から来年度も使うといった指示がなかった場合ですが、半年くらい紙袋に入れてしばらくとっておき、不要な場合は処分しても構わないと思います。ドリル、プリント、テスト等も見直しをしないのであれば、捨ててよいと思います。ただし、目的（思い出のプリント等）があるならば、必要なもののみ保管しておくこともあります。どんな理由で保管しておきたいのか、自分の家のルールを決めましょう。

思い出の品やかさばる物は、まずは置く場所（飾る場所）を確保しましょう。しばらく飾りを楽しみ、少し親ががんばった姿を子供に見せつつ、どのようにしたいか子供に聞きましょう。やれることを親が行った上で、これ以上は無理だと子供に伝えることも大切。処分に向け段階をつくりましょう。（1段階：思い出の品の写真を撮る、2段階：写真を楽しむ、…）

質問④ 姉妹で同じ部屋を使っているのですが、下の子が片付けがまだ下手なので上の子がそれに対してイライラすることがあります。そのような時、親はどのような声掛けをすればいいのでしょうか。

⇒上のお子さんは不公平な気持ちを感じていることと思います。そのような理不尽な気持ちを親がわかっていることを上の子に伝えることが大切だと思います。

質問⑥ 祖父母と同居しており、大人間の片付けのルールが違う場合はどうしたらよいのでしょうか。

⇒ 子どものために、大人間の片付けのルールを共通できることが望ましいと思いますが、そのような関係を構築することが難しい場合は、子供にルールの違いを伝えることも大切だと思います。暮らし方は家によって違います。

◆ 参加者の感想、気づいた点

・子供や夫の心理に寄り添いながら効率的に片付ける方法を教えて頂き良かったです。ただ片付けるではなく、心を育てるのだとわかりました。具体的な説明だったのでとてもわかりやすくすぐ実践できそうで嬉しかったです。

・子供が機嫌よく生活できるため、成長を促すための手段として片付けをするという考え方が良かったです。

・子供への具体的なアドバイスや片付けだけでなく普段の生活での会話の仕方なども教えて頂いたのでとても良かったです。

・同じ子育て世代の先生のお話は例えも含めてとても参考になりました。写真もとても身近でわかりやすかったです。

・片付ける事以上に親子の関わり方のヒントが盛り沢山でとてもためになりました。楽しみながら親子で片付けをしていきたいと思いました。

・お母さん目線での具体的な片付け方や子供への関わり方が大変参考になりました。

・自分の理想と現実をきちんと見極めてゆっくと子供と話しながら使いやすい家をもう一度考え直し片付けでイライラしない生活をしていきたいと思います。

・片付けに関して毎日子供とモメているので子供の気持ちに寄り添いながら暮らしやすくする工夫、ヒントを得られたかなと思います。共感できる話が多く最初から最後まで楽しく聞けました。

・思春期の子供の接し方にも触れとても参考になりました。

・早速子供と引き出しの中身を整理したいです。